

磐梯山噴火記念館

副館長 佐藤 公

1. 館の概要

当館は、磐梯山の噴火100年を記念して、1988（昭和63）年に開館した火山系の博物館です。

磐梯朝日国立公園の中心地である裏磐梯（磐梯山の北側）の五色沼と桧原湖との中間地点にあります。この周辺は年間約300万の人が訪れる福島県を代表する自然の観光地です。

磐梯山噴火は、明治以降では最大規模の火山災害で、477人ものが亡くなっています。その犠牲の上に五色沼をはじめとする約300余りの美しい湖沼群はつくられました。この事を後世に伝えるために当館は設立されました。



記念館

展示は、磐梯山の噴火を中心に、周辺の自然や火山・気象について紹介しています。企画展示室では、季節ごとに様々な企画展を開催しています。

2. 磐梯山の噴火

1888年当時は火山に関する学問はほとんど進んでおらず、ある意味で磐梯山の噴火がこの学問の日本における先駆けとなりました。当時調査を担当した学者は、帝国大学（現在の東京大学）地震学教授関谷清景と助教授菊地安を中心に、様々な人が磐梯山に来ています。

関谷清景・菊地安『磐梯山破裂実況取調報告』（「官報」1575号、1888年9月27日）

大塚信豊『岩代国磐梯山噴裂の記』

（「気象集誌」7、1888年）

大塚専一『磐梯山噴火調査報告』

（「地質要報」1号、1890年1月）

野口英世を育てた小林栄も、噴火の様子について、「地学雑誌」や「東洋学芸雑誌」に投稿しています。

この時の噴火は、また各新聞社においても、災害報道の先駆けとなりました。

当時、政治的主張の場としての性格が強かった新聞が、次第にニュース中心になろうとしていた時期に磐梯山の事件は発生した関係で、中央紙はこぞってこの事件を取上げ、全国に報道したのです。そのおかげで、全国から多くの義捐金も集められました。

日本赤十字社が平時（戦争以外の時）に救護活動を実施し、世界の先駆けとなりました。

また、当時東京大学の医学生がボランティアとして、磐梯山に来ています。これも、災害ボランティアの先駆けなのかもしれません。

磐梯山の噴火という一地方の出来事が、報道・通信・交通の革新時期と重なったため、日本の出来事となったのです。

外国でもいち早く報道されました。

イギリス：『THE TIMES』（1888.7.19）

アメリカ：『TheNewYorkTimes』

（1888.8.13）

フランス：『Le Temps』（1888.7.20）

イタリア：『CORRIERE DELLA SERA』

（1888.7.20）

3. 磐梯山の復興

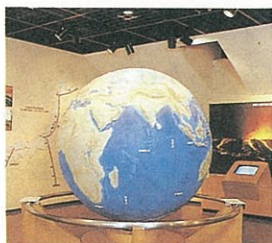
噴火により荒地と化した磐梯山周辺の植生が回

復したのは、自然の力による部分が大ですが、一方で、五色沼周辺に植林をした人々がいます。それが、遠藤十次郎や宮森太左衛門などです。こういった人々の努力があったからこそ、この裏磐梯は美しい景観をつくりだしているのです。昭和初期から磐梯山地方に国立公園を誘致しようとする活動がありましたが、この地域が指定を受けたのは、全国で17番目の昭和25年9月5日です。

4. 磐梯山は活火山

桜島や阿蘇山のように噴煙を上げることはありませんが、磐梯山は今なを活火山です。

日本には86の活火山があり、その中の5つ（磐梯山・吾妻山・安達太良山・燧ヶ岳・那須岳〔三本槍岳〕）が福島県にあります。ですから、福島県という県は全国的にも火山の多い地域なのです。気象庁では、この活火山の中でも活動の活発な21火山を常時観測していますが、燧ヶ岳を除く4火山はこの対象となっています。



地球儀



世界初の地震計



こういった常時観測を必要とするような活火山においては、災害予測図（ハザードマップ）を作成し、地域防災計画を立て訓練を実施する必要がありますが、福島県においては、まだ1つの火山も実行されていません。

活火山のある地域は磐梯山のように、多くは観光地となっています。地域住民ばかりでなく、訪れる観光客のためにも、災害予測図（ハザードマップ）の作成が急がれます。

5. その他

当館では、立体映像で噴火の再現を御覧いただける『磐梯山3Dワールド』を併設しております。

当館では、ホームページを開設しております。

毎日の磐梯山の写真を紹介し、福島県の火山情報福島県の博物館の企画展情報を案内しています。

URL : <http://www.akina.ne.jp/~bandaimu/>

E-mail : bandaimu@akina.ne.jp

■ 利用案内

開館時間 8 : 00～17 : 00

(冬期間 9 : 00～16 : 00)

休館日 なし

入館料 3D共通

	個人	団体	個人	団体
大人	600	550	1100	1000
中高生	500	450	900	700
小学生	400	350	800	600

団体は30名以上

■ 交通案内

- ・ JR磐越西線 猪苗代駅から 会津バスの磐梯高原行で約30分 磐梯山噴火記念館前下車
- ・ 磐梯自動車道 猪苗代磐梯高原ICから北に約18kmで、五色沼と桧原湖の中間地点、約25分